

第4回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2015/08/21 201・202会議室

全体像について

グループ	懇談会での発表(要約)
①池田委員、 田嶋委員、 寺島委員、 伊藤委員	・柱がなくイメージがわからない。 ・キャッチフレーズがあった方がいい。 → 「ちょうどいい」を伸ばせられる具体的な言葉が必要。
②井手委員、 宇津木委員、 渋谷委員、 小林委員	・イメージ図に求心力がない。 ・羽村市にいいこと(もの)は多いが、全国と比べると日本一なものが見当たらない。 ・「地方創生の方針」に具体性がないと広報にならない。
③岡委員、 高橋委員、 折原委員、 羽村委員	・「地方創生の方針」の言葉が分かりづらい。 ・市民が当事者になるので、「当事者を育てていく」といった言葉が入るといい。 ・シルバー層の貢献や活用という視点も必要。(シルバー層が手助けする人になる可能性もある。)総体として暮らしやすい街であることを20代の女性にアピールできるように、ソーシャルコミュニティビジネスのようなもので働いていただくようなものがあるとよい。
④大和田副会長 山本(三)委員、 勝山委員、 清水委員	・ターゲット層にインパクトのある言葉、文章にしたほうがいい。 ・「はむらスタイル」とは何の魅力を指しているのか。20代・30代を呼び込むための策あるのか。 → 子育て世代に手当や紙おむつ補助などの特典が必要ではないか。